

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 主要経済指標予定 (2009年5月11日~5月15日)

発表日: 2009年5月8日 (金)

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 日本経済短期チーム
TEL: 03-5221-4528

(5月11日~5月15日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
5月11日 (月)					
5月12日 (火)	14:00 3月景気動向指数 CI一致指数(前月差) CI先行指数(前月差)	▲0.3pt +2.0pt	▲0.2pt +2.0pt	▲0.4pt~+0.2pt +1.7pt~+2.2pt	▲2.6pt ▲1.7pt
5月13日 (水)	8:50 3月国際収支 経常黒字(前年比) (原数値)	▲58.3% 12,100 億円	— 12,100 億円	— 7,500 億円~16,000 億円	▲55.6% 11,169 億円
	8:50 4月マネーストック M2(前年比) M3(前年比) 広義流動性(前年比)	+2.3% +1.4% +0.1%	+2.3% +1.4% +0.1%	+2.0%~+2.4% +1.2%~+1.4% ▲0.2%~+0.4%	+2.2% +1.3% 0.0%
	8:50 4月貸出・資金吸収動向 国内銀行貸出残高(調整後前年比)	—	—	—	+4.2%
	14:00 4月景気ウォッチャー調査 現状判断 DI 先行き判断 DI	— —	— —	— —	28.4 35.8
	白川日銀総裁講演				
5月14日 (木)					
5月15日 (金)	8:50 4月企業物価指数 (前月比) (前年比)	▲1.2% ▲4.2%	+0.1% ▲3.0%	▲1.2%~+1.0% ▲4.2%~▲2.2%	▲0.2% ▲2.2%
	8:50 3月機械受注 船電除く民需 (前月比) (前年比)	▲1.2% ▲25.1%	▲4.8% ▲28.2%	▲10.0%~+3.0% ▲31.5%~▲24.7%	+1.4% ▲30.1%
	13:30 3月特定サービス産業動態統計				

(注) 市場予測はBloomberg、日経 quick 調査をベースに作成

【重要指標の当社予測とコメント】

3月景気動向指数 CI一致指数/CI先行指数(前月差) 当社予想: 前月差 ▲0.3pt/+2.0pt 中央値: 同 ▲0.2pt/+2.0pt

一致CIは、昨年秋以降大幅な低下が続いてきたが、在庫調整の進展に伴う減産圧力の緩和などを背景として、3月は低下幅が縮小する見込み。景気の悪化テンポが弱まりつつあることを示していると考えられる。また、先行CIは前月差+2.0%と、6ヶ月ぶりに前月差プラスに転じる見込みである。

CI一致指数を構成する系列には生産関連指標が多いため、一致CIは鉱工業生産の動きに大きく影響される傾向がある。その鉱工業生産は、4-6月期に前期比で増加する可能性が高まっていることから考えて、一致CIは4月以降上昇に転じる可能性があるだろう。(主任エコノミスト: 新家 義貴)

3月国際収支・経常収支(原数値) 当社予想: 1兆2100億円 中央値: 1兆2100億円

3月の経常黒字額は12,100億円(前年比▲58.3%)と予想する。既に発表された貿易統計では、海外での在庫調整の進展などにより6ヶ月ぶりに輸出の減少ペースが鈍化したことで、貿易収支は2ヶ月連続で小幅黒字となった。また、サービス収支についても、中国からの訪日外客数が増加したことから、旅行収支の赤字幅縮小が見込まれる。一方、所得収支は、海外子会社の収益悪化や金利の低下を背景に、引き続き黒字幅の縮小が予想される。2月に続き、3月も経常収支は黒字が予想されるものの、黒字幅は前年割れの低水準に留まるだろう。(エコノミスト: 小杉 晃子)

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

4月企業物価指数・国内企業物価（前年比）

当社予想：前年比 ▲4.2% 中央値：同 ▲3.0%

4月の国内企業物価は前月比▲1.2%、前年比▲4.2%を予想する。鉄鉱石や原料炭などの原材料価格の引き下げを受けて、鉄鋼で大幅なマイナスが予想されるほか、加工食品や製材・木製品、パルプ・紙・同製品、化学製品、プラスチック製品など多くの品目でマイナスが見込まれる。一方、各国の大規模な経済対策の発表から景気回復期待が高まり、原油や非鉄金属の先物価格が幾分持ち直していることから石油・石炭製品や非鉄金属では前月比プラスが見込まれる。

先行きは、鋼材価格の下落が輸送用機器や一般機械などにも波及していくこと、輸入小麦引渡し価格の引き下げから加工食品も下落基調を続けること、燃料価格の下落を受け電気、ガス料金の値下げがあることなどから、国内企業物価の低下傾向が続くと考えられる。08年に原油価格高騰により急上昇していた裏も出ることもあり、国内企業物価は夏場にかけてマイナス幅を急速に拡大させていく見込みだ。

（エコノミスト：中本 泰輔）

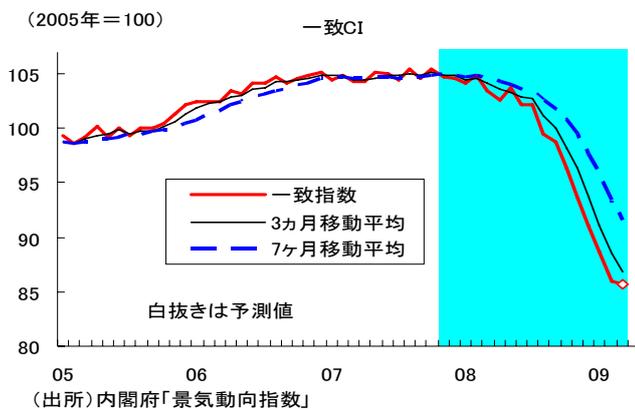
3月機械受注・船舶電力除く民需（前月比）

当社予想：前月比 ▲1.2% 中央値：同 ▲4.8%

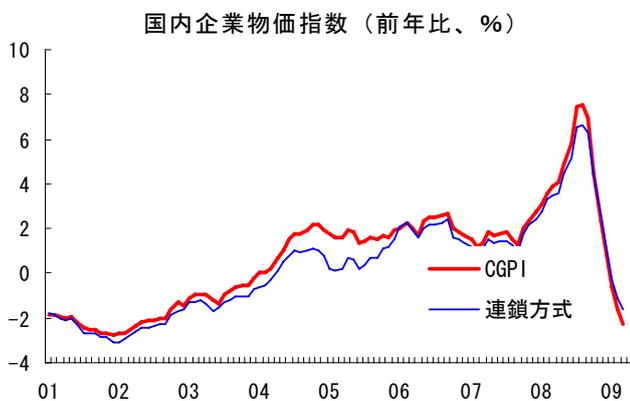
3月の機械受注（船舶・電力除く民需）は、前月比▲1.2%と2ヵ月ぶりの減少を予想する。1－3月期は内閣府見通し（前期比+4.1%）を大幅に下回り、3四半期連続の減少となるだろう。これまでの機械受注の落ち込みが示す通り、当面の設備投資は大幅な減少が続くと予想される。なお、4－6月期は鉱工業生産が上昇に転じる可能性が高まるなど、企業部門に明るい材料が出始めている。このため同時に公表される4－6月期の内閣府見通しも注目されよう。（副主任エコノミスト：齋藤 俊輔）

以上

図表 1

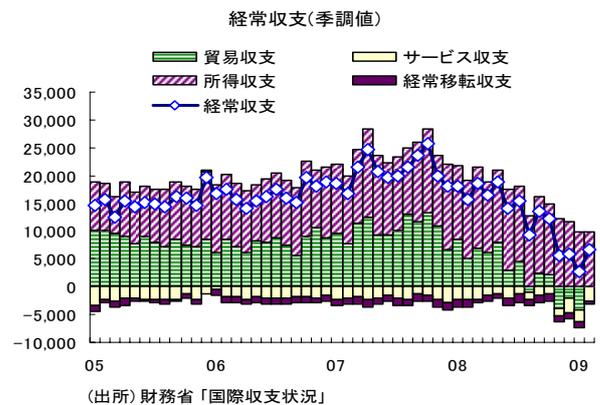


図表 3

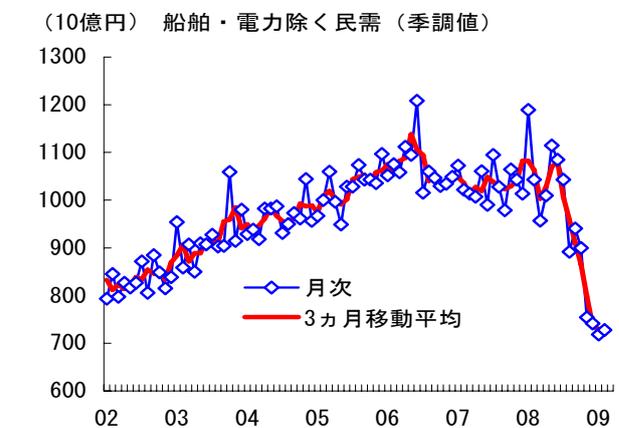


（出所）日本銀行「企業物価指数」

図表 2



図表 4



（出所）内閣府「機械受注統計」

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

5月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
4/27 ※(独)4月消費者物価(速)	28 3月商業販売統計(8:50) (米)CB消費者信頼感指数 (独)4月消費者物価(速)	29 (米)1-3月期GDP(速) (米)FOMC (マレーシア)金融政策委員会	30 3月鉱工業指数(8:50) 3月住宅着工統計(14:00) 4月日銀展望レポート(15:00) 日銀総裁定例記者会見 (15:30) 金融政策決定会合 (米)3月個人所得・消費 (米)4月シカゴPMI (欧)4月消費者物価(速) (ニュージーランド)金融政策委員会 (ブラジル)金融政策委員会 (南ア)金融政策委員会	5/1 3月消費者物価・全(8:30) 4月消費者物価・都(8:30) 3月労働力調査(8:30) 3月一般職業紹介状況(8:30) 3月家計調査(8:30) 3月毎月勤労統計(10:30) 4月自動車販売(14:00) 4月軽自動車販売(14:00) (米)4月シカゴ大消費者センテ (確) (米)4月ISM製造業指数 (米)4月自動車販売
4 (米)3月中古住宅販売保留 (米)3月建設支出 (米)4月ネット求人広告指数 (欧)4月製造業PMI(確)	5 (米)4月ISM非製造業指数 (欧)3月生産者物価 (インドネシア)金融政策委員会	6 (欧)4月サービス業PMI(確) (欧)3月小売売上高	7 4月マネタリーベース(8:50) (米)3月消費者信用残高 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合 (独)3月製造業受注	8 金融政策決定会合議事要旨(4月6,7日分)(8:50) 3月家計消費状況調査(14:00) (米)4月雇用統計 (米)3月卸売在庫 (独)3月鉱工業生産
11 (仏)3月鉱工業生産	12 3月景気動向指数(14:00) 10年利付国債 (米)3月貿易収支 (米)4月財政収支 (独)4月消費者物価(確) (韓)金融政策委員会	13 3月国際収支(8:50) 4月マネーストック(8:50) 4月貸出・資金吸収(8:50) 4月景気ウォッチャー調査 (14:00) 白川日銀総裁講演 (米)4月輸入物価 (米)4月小売売上高 (米)3月企業在庫 (欧)3月鉱工業生産 (仏)4月消費者物価	14 40年利付国債 (米)4月生産者物価	15 3月機械受注統計(8:50) 3月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 4月企業物価(8:50) (米)4月消費者物価 (米)5月NY連銀指数 (米)3月対米証券投資 (米)4月鉱工業生産 (米)5月シカゴ大消費者センテ (速) (欧)4月消費者物価 (独)1-3月期GDP(改) (仏)1-3月期GDP(改) (伊)1-3月期GDP(改) (香港)1-3月期実質GDP (インドネシア)1-3月期実質GDP
18 5月ロイター短観(8:30) 3月毎月勤労統計・確(10:30) 3月商業販売統計・確(13:30) 3月建設総合統計(14:00) 4月消費動向調査(14:00) ※4月全国百貨店売上高 (14:30) (米)5月NAHB住宅市場指数 (欧)3月貿易収支	19 4月投入・産出物価指数(8:50) 3月鉱工業指数・確(13:30) ※5月月例経済報告 5年利付国債 (米)4月住宅着工件数 (米)4月建設許可件数	20 1-3月期GDP1次速報(8:50) ※09年3月末市街地価格指数 (10:00) 4月コンビニエンスストア統計(16:00) (タイ)金融政策委員会	21 3月第3次産業活動指数(8:50) ※4月チェーンストア販売統計 (14:00) 金融政策決定会合(～22日) (米)4月景気先行指数 (米)5月フィラ連銀指数 ※(欧)5月サービス業PMI(速) ※(欧)5月製造業PMI(速)	22 3月景気動向指数改訂(14:00) 日銀総裁定例記者会見 (15:30) (英)1-3月期GDP(確)
25 3月全産業活動指数(8:50) 5月金融経済月報(14:00) (タイ)1-3月期実質GDP (台湾)1-3月期実質GDP ※(シンガポール)1-3月期実質GDP	26 4月企業向けサービス価格指数 (8:50) 20年利付国債 (米)5月CB消費者信頼感指数 (欧)3月経常収支 (マレーシア)金融政策委員会	27 金融政策決定会合議事要旨(4月30日分)(8:50) ※4月貿易統計(8:50) 白川日銀総裁挨拶 (米)3月FHFA住宅価格指数 (米)4月中古住宅販売件数 (独)5月消費者物価(速)	28 4月商業販売統計(8:50) 2年利付国債 (米)4月耐久財受注 (米)4月新築住宅販売件数 (フィリピン)1-3月期実質GDP (フィリピン)金融政策委員会	29 4月消費者物価・全(8:30) 5月消費者物価・都(8:30) 4月労働力調査(8:30) 4月一般職業紹介状況(8:30) 4月家計調査(8:30) 4月鉱工業指数(8:50) 4月住宅着工統計(14:00) (米)1-3月期GDP(改) (米)5月シカゴPMI (米)5月シカゴ大消費者センテ (確) (欧)5月消費者物価(速)

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

6月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
6/1 4月毎月勤労統計(10:30) 5月自動車販売(14:00) 5月軽自動車販売(14:00) (米)4月個人所得・消費 (米)5月ISM製造業指数 (米)4月建設支出 (米)5月ネット求人広告指数 (欧)5月製造業PMI(確) (韓)1-3月期GDP	2 5月マネタリーベース(8:50) 10年利付国債 (米)4月中古住宅販売保留 (米)5月自動車販売 (豪)金融政策委員会	3 (米)5月ISM非製造業指数 (米)4月製造業受注 (欧)5月サービス業PMI (欧)4月生産者物価 (欧)1-3月期GDP(改) (豪)1-3月期GDP (尼)金融政策委員会	4 1-3月期法人企業統計(8:50) (欧)4月小売売上高 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合	5 4月家計消費状況調査(14:00) (米)5月雇用統計 (米)4月消費者信用残高
8 5月マネーストック(8:50) 5月貸出・資金吸収(8:50) 4月国際収支(8:50) 5月景気ウォッチャー調査 (独)4月製造業受注	9 4月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 4月景気動向指数(14:00) 30年利付国債 (米)4月卸売在庫 (独)4月鉱工業生産 (露)1-3月期GDP (伯)1-3月期GDP	10 5月企業物価(8:50) 4月機械受注統計(8:50) (米)4月貿易収支 (米)5月財政収支 (米)ページブック (独)5月消費者物価(確) (仏)4月鉱工業生産 (伊)1-3月期GDP(確)	11 1-3月期GDP2次速報(8:50) 5年利付国債 (米)5月小売売上高 (米)4月企業在庫 (新)金融政策委員会 (韓)金融政策委員会 (伯)金融政策委員会	12 5月投入・産出物価指数(8:50) 4月鉱工業指数・確(13:30) 5月消費動向調査(14:00) (米)4月輸入物価 (米)6月シカゴ大消費者センサ(速) (欧)4月鉱工業生産 (仏)5月消費者物価
15 4月商業販売統計・確(13:30) 金融政策決定会合(～16日) (米)6月NY連銀指数 (米)4月対米証券投資 (米)6月NAHB住宅市場指数	16 日銀総裁定例記者会見(15:30) (米)5月住宅着工件数 (米)5月住宅許可件数 (米)5月鉱工業生産 (欧)5月消費者物価	17 1-3月期資金循環(8:50) 4月毎月勤労統計・確(10:30) 4月建設総合統計(14:00) 6月金融経済月報(14:00) 20年利付国債 (米)5月消費者物価 (欧)4月貿易収支 (土)金融政策委員会	18 6月ロイター短観(8:30) ※6月月例経済報告 (米)5月景気先行指数 (米)6月フィラ連銀指数	19 金融政策決定会合議事要旨(5月21,22日分)(8:50) (墨)金融政策委員会
22 4月第3次産業活動指数(8:50) 4-6月期法人企業景気予測調査(8:50) ※5月全国百貨店売上高(14:30) 5月コンビニエンスストア統計(16:00) ※(欧)6月サービス業PMI(速)	23 4月景気動向指数改訂(14:00) (米)5月FHFA住宅価格指数 (米)5月中古住宅販売件数	24 5月企業向けサービス価格指数(8:50) ※5月貿易統計(8:50) (米)5月耐久財受注 (米)5月新築住宅販売件数 (米)FOMC (欧)4月経常収支 ※(独)6月Ifo景況感指数	25 ※5月チェーンストア販売統計(14:00) 2年利付国債 (米)1-3月期GDP(確) (南ア)金融政策委員会	26 5月消費者物価・全(8:30) 6月消費者物価・都(8:30) 4月全産業活動指数(8:50) (米)5月個人所得・消費 (米)6月シカゴ大消費者センサ(確) (独)6月消費者物価(速) (仏)1-3月期GDP(確) (越)4-6月期GDP (新)1-3月期GDP
29 5月商業販売統計(8:50) 5月鉱工業指数(8:50) (米)6月ネット求人広告指数	30 5月労働力調査(8:30) 5月一般職業紹介状況(8:30) 5月家計調査(8:30) 5月毎月勤労統計(10:30) 5月住宅着工統計(14:00) (米)6月シカゴPMI (米)6月CB消費者信頼感指数 (欧)6月消費者物価(速) (英)1-3月期GDP(確) (土)1-3月期GDP	7/1 6月日銀短観(8:50) 6月自動車販売(14:00) 6月軽自動車販売(14:00) ※平成21年路線価 (米)6月IMS製造業指数 (米)5月中古住宅販売保留 (米)5月建設支出 (米)6月自動車販売 (欧)6月製造業PMI(確)	2 6月短観業種別計数及び調査全容(8:50) 6月マネタリーベース(8:50) 10年利付国債 (米)6月雇用統計 (米)5月製造業受注 (欧)5月生産者物価 (欧)ECB理事会	3 5月家計消費状況調査(14:00) (欧)6月サービス業PMI(確) (欧)5月小売売上高

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。